

- ・「子どもの貧困への社会福祉士の関わり
-学校・地域でのソーシャルワーク」
- ・一般社団法人山口県社会福祉士会第 14 回定時社員総会

を開催しました。

平成28年6月25日(土)13時から、山口県社会福祉会館大ホールにて、講演会及び一般社団法人山口県社会福祉士会第14回定時社員総会が開催されました。

13時から、幸重社会福祉士事務所 代表 幸重忠孝氏をお招きして、『子どもの貧困への社会福祉士の関わり-学校・地域でのソーシャルワーク』というテーマで講演会を行ないました。

15時15分からの定時社員総会には、正会員374名(内委任状提出者数304名)が出席し、平成27年度事業報告並びに決算報告及び諸規程類の改正が議審され、いずれも承認されました。

❁講演会

今年度から、総会前講演会は、委員会主導により開催することとしました。

初回、スクールソーシャルワーク委員会が真っ先に手を挙げられ、企画されました。

幸重社会福祉士事務所 代表 幸重忠孝氏をお招きして、『子どもの貧困への社会福祉士の関わり-学校・地域でのソーシャルワーク』というテーマで講演会を行ない、社会福祉士をはじめ100人以上の方が参加されました。



「ソーシャルワーカーとは、何をするひとなのか？」と幸重先生のソーシャルアクションについて話がありました。

○全国に子どもの貧困対策事業(トワイライトステイや子ども食堂)を広めるための新しいモデルづくり。

(子どもの貧困問題があっても、今の制度の中には、子どもに直接支援できることがなさすぎると感じ→子どもの夜の生活を立ち上げる事業を立ち上げ→どこまでオープンにするのか葛藤しながらも、マスコミの手を借りながら、社会発信→内閣府の子どもの貧困対策に関する検討会でプレゼン→子どもの貧困対策センター設立に評議員として参加)

○子どもへの17時~22時までトワイライトステイサービス

(商店街の空き店舗や、高齢者のデイサービスの施設の夜間が、まるまる空いているので、そこを使わせてもらっている。)

○散髪

(美容院に募金箱→お客が募金、こどもが美容院で掃除などの手伝い→散髪券をもらう、美容師は券を募金箱から換金し、ボランティアではない正当な対価で散髪)

○次のアクションは、高齢者の分野という包括支援センターのような、障害分野という相談支援センターのような子どもソーシャルワークセンターを、子どもが通える範囲(学区)に!

アクションの根底は、『子どものきもちを代弁することを一番大事にされていること』、そして『社会のシステムしてとらえ、なければ「作り出す」。それがソーシャルワークのはず!』ということです。



講演会終了後には、いくつかの高齢福祉関連の施設長さんや、相談員さんから「うちの、デイサービスや、グループホームで、こども食堂や、子どものトワイライトステイサービス（17時～22時）ができないだろうか？」との相談がありました。幸重先生のソーシャルアクションは、大変刺激になり、これからの活動に活かそうと思いを新たにいたしました。

❁ 第14回定時社員総会

15時15分、定刻通り、定時社員総会が開会しました。

山口県社会福祉士会 正会員数（6月24日時点で650名）、本日参加者数374名（内委任状提出者304名）、よって出席者数が総会員数の過半数であり、定時社員総会が成立しました。



はじめに、本会会長より、下記の内容について挨拶がありました。

○近年、ソーシャルワーク専門職（とりわけ社会福祉士）への期待は高まっている。

○多様な福祉や住みたい地域づくりへの取り組み、権利擁護など社会正義への切実な願いが、専門職への期待となって表れている。

○熊本地震被災地支援の協力及び被災地支援活動支援金の呼びかけ。

【第1号議案】 平成27年度事業報告

【第2号議案】 平成27年度決算報告

第1号議案、第2号議案は相方関連があり、一括審議で行われました。

まず、事業報告については橋本・上野副会長と委員会活動については各委員長、地域活動について各ブロック代表者より説明が行われ、決算報告については辻中事務局長より説明が行われました。その後、鳥居守人監事、渡辺慎一監事から、平成28年4月28日に実施した監査の報告が行われました。

上記の説明後、議長が質問、意見を求めたが特に発言がなく、第1号議案及び第2号議案について承認を諮ったところ異議なく、原案どおり承認、可決されました。

【第3号議案】 諸規程類の改正

諸規程類の改正について、辻中浩司事務局長より説明が行われ、その後、議長が質問、意見を求めたが特に発言がなく、第3号議案について承認を諮ったところ異議なく、原案どおり承認、可決された。

【第 1 号報告連絡事項】

諸規定類の改正の報告を辻中浩司事務局長が行いました。

定時社員総会は滞りなく進み、16 時30分に閉会いたしました。ご参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。

この度の総会では、「熊本地震被災地活動支援金」の募金箱を設置し、多く方からご協力をいただくことができました。有難うございました。

皆様からお預かりしました被災地活動支援金は「山口県社会福祉士会」として、平成 28 年 6 月 27 日に「日本社会福祉士会」にお届けしましたので、ご報告いたします。

(支援金額 7,751 円)

報告書作成日：平成 28 年 6 月 31 日

報告書作成者：スクールソーシャルワーク委員会，本会事務局